

# コロナ危機が長引くなかで 内外経済・マーケットをどうみるか

みずほ証券チーフマーケットエコノミスト 上野泰也

- \*まだ終わっていないコロナ危機
- \*各国とも感染拡大阻止から経済シフトへ
- \*予想されたK字型景気回復はどうなるか
- \*「新しい資本主義」について考える
- \*岸田首相とアベノミクスの関係
- \*足元のインフレ懸念をどう見るか
- \*コストプッシュインフレ下の利上げは間違い
- \*中央銀行の政策スタンスを検討する
- \*気になるバイデン政権の先行き
- \*CPIを引き下げる低いサービス価格



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は、しばらくぶりに上野さんにおいていただきました。コロナでいろいろ規制がかかって、お呼びしても来られなかったのでございますが、やっとお話が聞けるといことです。

1963年のお生まれで、上智大学から会計検査院に入庁され、その後、富士銀行へ移られ、今、みずほ証券で債券調査チームのチーフエコノミストをされておられます。

コロナは、まだ完全に終息したかどうか、ちょっと怪しい面もございますが、一方では、年末から年初めには飲み薬もできるといことではないかと思えます。そういう意味で、現在の状況、それから今後の経済動向につきまして、マーケ

ットも含めて、今日はじっくりお話をしていただきたいと思えます。

それでは、上野さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

## まだ終わっていないコロナ危機

**上野** みずほ証券の上野でございます。経済倶楽部さんには昔からお世話になっております。もう3年ぐらい間が空いてしまいました。この間、随分世の中は変わったなと思います。特に、コロナの危機でこういう形になりました。まったく予想しなかった世の中の変化があるかと思えます。

今日は、タイトルとして、「コロナ危機が長引くなかで内外経済・マーケットをどうみる